## カリキュラム



#### 動詞を究める!

英語の基本は、主語・動詞です。英文を読む際に(同時に日本語の文を読むときにも)、この動詞を中心にして、「ダレガ・(何デ)・アル」や「ダレガ・(ナニヲ)・ドウスル」が自然に意識できること、それが英語上達の秘訣です。そこで、この冬期講習では、様々に形を変える動詞の使い方をマスターしましょう。動詞の位置、変化形、助動詞と動詞の組み合わせ方、動詞を名詞や形容詞または副詞として使用する方法など、動詞の使い方を集中的に復習します。

- ◎ 中学3年生の英語の学習内容は中学1年、2年生の学習内容が理解できていないとわからない内容です。 3年生でいいスタートがきれるように今からしっかりと取り組みましょう。
- ◎ 授業を進める中で問題の答えは、ノートに書きます。テキストには書き込みません。
- ◎ わからない単語はノートに書き出し、意味を調べておくこと。間違えた問題はテキストの問題番号に印 (○でよい)をつけておき、復習の時に重点的に学習しましょう。

入試基礎カアップ講座_カリキュラム			
1	未来の文・いろいろな助動詞	p.6~9	
2	いろいろな文型	p.10~13	
3	不定詞	p.14~17	
4	動名詞	p.18~21	
5	接続詞	p.22~25	
6	比較・まとめ	p.26~27	

# 社会

# カリキュラム

#### 「思い出す」を増やす冬!

定期テストの前に「何となく」覚えて、テストが終わったら「こんな言葉覚えてない…」ということ、ありませんか? 練習では、何回教科書で調べても大丈夫。その代わり、調べた・間違えた問題は、必ずチェックを入れておきましょう。その問題があなたのやり直すべき「出来ない」問題です。すらすらと思いだせるまで、何度も解き直しましょう。「出来ない」はその日のうちに「出来る」に変えていきましょう。

入試基礎力アップ_カリキュラム		基礎カアップ_カリキュラム	事前課題	
	1	② 近畿/⑤ 中部/⑥ 関東/⑥ 東北・北海道	a p.10/b p.12/c p.18/d p.20	
	<u>©</u>	<ul><li>② 近世の世界と日本(1)/⑤ 近世の世界と日本(2)</li><li>⑥ 近代の世界と日本(1)/⑥ 近世の世界と日本(2)</li></ul>	@ p.14/6 p.16	
	<b>(</b>	⑥ 近代の世界と日本(1)/ ◎ 近世の世界と日本(2)	© p.22/@ p.24	



#### 数学を得意科目にするために!

#### 『関数・図形・資料の活用』を鍛える!

~今までの学習を総復習『関数・図形・資料の活用』を鍛え、得意分野に!~

- ★『図形の土台』を鍛える:誰もが苦手な図形の基礎を固め、基本から応用問題まで出来るよう徹底指導!
- ★ 『**関数を使いこなす力』を鍛える**:誰もが苦手な問題を徹底指導。パターン別に徹底解説し得意分野に!
- ★『資料の活用』を鍛える: 入試頻出単元で苦手な問題を徹底指導。パターン別に徹底解説し得意分野に!

入試基礎力アップ講座_カリキュラム				
1	空間図形① 平面と直線の関係、立体の体積	p.9,10/p.8,9		
2	空間図形② 立体の体積と表面積	p.11/p.10		
3	一次関数とグラフ	p.23/p.22		
4	一次関数と方程式・一次関数の利用	p.25/p.24		
5	資料の活用	p.12,13		
6	資料の散らばり、式の値・等式の変形	p.13,17/p.13,16		

# カリキュラム



### 『計算力』を鍛える! 『用語』を固める!

~重要な用語を使いこなす力を、反復練習によって固め、入試に向けた力を養います~

理科の学習のポイントは、各単元の内容をていねいにまとめることです。必ず教科書を持参し、1つでも多くの用語を自分のものにできるよう、貪欲に取り組んでください。間違った問題には、問題の左端にチェックを入れておきましょう。間違い直しは、ただ答えを色ペンで書くのではなく、なぜその答えになるのかという理由を、ノートにていねいにまとめましょう。テスト前に見直せるように、有効活用できるノートを作ってください。

	人試	<b>基礎カアップ_カリキュラム</b>	事前課題
	1	1年生まとめ 生物、大地、光・音、身のまわりの物質 (p2~5)	p.10~11
Ī	2	化学変化と原子・分子 (p.6~9) 血液循環・刺激 (p.14~17)	p.12~13



# 読解の基本を身につける

「なんとなく文章を読んで、なんとなく答える」から、「こう書いてあるから、こう答える」に変わりましょう。 国語は、文章の中に答えが書いてあります。きちんと読むことができれば、答えを導くことができるのです。授業の際には、そのルールを説明しますから、そのルールに基づき問題を解きましょう。問題を解く時には、「ここにこう書いてあるから、この答えを選んだ」と理由をつけて解答をしていきましょう。また、記述問題にも必ず挑戦してください。書かないことが絶対に無いようにしましょう。答え合わせの際はなぜその答えになったのか、この文章はどの部分が一番重要だったのかを考え、解答のルールをつかんでいきましょう。

<b>•</b> .	入試基礎カアップ_カリキュラム	事前課題	事後課題
(1)	論理的文章 段落の要点・段落関係/文章の構成・要旨①	p.16~17	先生の指示通り
	PROPERTY AND STATE OF THE PROPERTY STATE OF THE PROPERTY OF TH	p.20~21	70107100
2	論理的文章 <b>文章の構成・要旨②/筆者の考え・論旨</b>	p.24~25	先生の指示通り